

「ビール」及び「発泡酒・ビール風アルコール飲料」の購入数量



— 家計調査結果（二人以上の世帯）より —



残暑が厳しくなってきましたが、ビールなどのお酒がいつそう美味しく感じられる時期ではないでしょうか。そこで、今月は「ビール」と「発泡酒・ビール風アルコール飲料※」の購入数量について、二人以上の世帯の結果から見てみましょう。

※いわゆる第3のビールと呼ばれる飲料が含まれる、ビール風味のアルコール飲料のこと。

「発泡酒・ビール風アルコール飲料」が「ビール」を上回る

1世帯当たりの年間購入数量を年別（2010年～2019年）に見ると、「発泡酒・ビール風アルコール飲料」が「ビール」を上回っています（図1）。

7月、8月及び12月に購入数量が増加

1世帯当たりの月別購入数量（2017年～2019年平均）を見ると、「ビール」及び「発泡酒・ビール風アルコール飲料」は、夏場に多く消費されています。特に「ビール」は、7月、8月及び12月の購入数量が多くなっており、これは自家消費だけでなくお中元やお歳暮のための購入などが増えるためと考えられます（図2）。

年齢階級が高くなるにつれ「ビール」の購入数量は多い

最後に、世帯主の年齢階級別1世帯当たり年間購入数量（2017年～2019年平均）を見ると、「ビール」は70歳以上を除き、世帯主の年齢階級が高くなるにつれ、購入数量が多くなっています。一方、「発泡酒・ビール風アルコール飲料」は、40歳代で購入数量が最も多く、年齢階級が高くなるにつれ少なくなっており、70歳以上では「ビール」とほぼ同じとなっています（図3）。

図1 「ビール」及び「発泡酒・ビール風アルコール飲料」の1世帯当たり年間購入数量の推移（2010年～2019年）

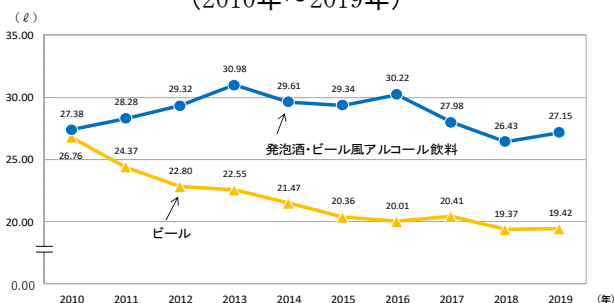


図2 「ビール」及び「発泡酒・ビール風アルコール飲料」の1世帯当たり月別購入数量（2017年～2019年平均）

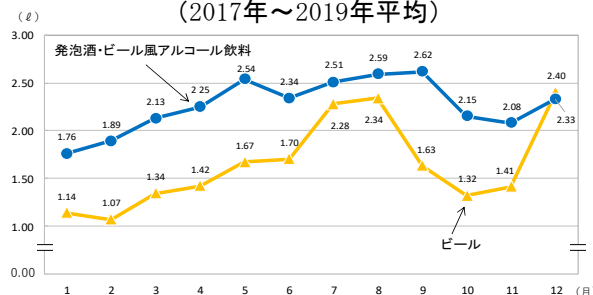


図3 「ビール」及び「発泡酒・ビール風アルコール飲料」の世帯主の年齢階級別1世帯当たり年間購入数量（2017年～2019年平均）

